２０１９年度事業報告書

2019 年度の協会活動を次の 5 事業に大別して報告する。

1. 刊行事業
2. 講演･講習会等の事業
3. 会議･委員会･部会活動推進事業
4. その他の事業（開発･研究関連等）
5. その他の企画･調査等

1．刊行事業

当協会の機関誌である協会誌「強化プラスチックス」（月刊）の更なる内容充実に努めた。
協会誌の編集会議を毎月 1 回開催し、協会誌の特集、連載講座、その他新たな企画をし、読者が読み易くためになる協会誌作りに努めた。
電子メールでの会員の声の投稿先を継続的にご案内して意見を求め、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、協会誌の「会員・読者の欄」への公開を継続中。

（1）協会誌「強化プラスチックス」（Vol.65,No.04～Vol.66,No.03）
2020 年 1 月号（Vol.66,No.1）から表紙の色をそれまでの緑色からオレンジ系色に変更した。
（2）64th FRP CON-EX 2019 講演要旨集
（3）刊行物、記念出版物等の販売
（4）出版物増刷等フォロー

2．講演･講習会等の事業

（1）講演･講習会･セミナー等

【当協会が主催したもの】

64th FRP CON-EX 2019（第 64 回 FRP 総合講演会・展示会）
2019 年 10 月 24 日～25 日に岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザで開催した。

主催者団体責任者　　邉　吾一（強化プラスチック協会）
講演部門実行委員長　仲井 朝美（岐阜大学）
展示部門実行委員長　福井 英輔（福井ファイバーテック㈱）
協　賛　68 関連学・協会
会　期　2019 年 10 月 24 日（木）、25 日（金）
会　場　岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ
技術交流会　150 名参加
期　日　2019 年 10 月 24 日（木）夕刻
会　場　岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ
講　演　400 名参加
招待講演　2 件
特別講演　2 件
キーノート講演　1 件
一般講演　42 件

ポスターセッション　29 件
表彰　論文賞　2 名
ポスターセッション賞　3 名
展示　展示　37 社・団体、展示数 51 テーブル

① FRP 懇話会（担当理事：末益 博志（JAXA））
第 15 回
日　時：2019 年 5 月 10 日（金）17 時～19 時頃
会　場：強化プラスチック協会　会議室
話題提供者：アルケマ㈱　京都テクニカルセンター　有浦 芙美氏
演　題：アルケマの熱可塑性コンポジットにおける事業展開
第 16 回
日　時：2019 年 10 月 7 日（月）17 時～19 時頃
会　場：強化プラスチック協会　会議室
話題提供者：三菱電機エンジニアリング㈱　宇宙機器設計第四課　植村 寧夫氏
演　題：三菱電機エンジニアリング㈱の概要と宇宙関連ビジネス
② 第 32 回 FRP 入門講習会（東京）
期　日：2019 年 6 月 27 日（木）
会　場：日本大学理工学部 駿河台校舎 タワースコラ S202 教室
企画実施　情報・編集委員会　参加者 61 名

【当協会が共催/後援/協賛したもの】
関西 FRP フォーラム【FRP 入門講習会】
（関西 FRP フォーラム、強化プラスチック協会共催）
期　日：2019 年 9 月 12 日（木）
会　場：大阪産業技術研究所　森之宮センター
参加者 34 名

他の講演／協賛を含め計約 35 件

3．会議・委員会・部会活動推進事業

各々の組織内コミュニケーションを十分諮りつつ、変革期にある産業界において業界ニーズにマッチした活動を展開する。

＜ 3－1　会議関係 ＞

運営会議

当会議は会の事業・予算等及び各委員会の設立廃止に関し立案し会務を運営することを主務としている。例年同様、業界ニーズに的確な対応を図り産業振興に寄与する。

＜ 3－2　委員会関係 ＞

（1）情報・編集委員会（委員長：久保内 昌敏（東京工業大学））

毎月 1 回開催して協会誌の編集、掲載記事候補、特集の企画、協会誌読後感想、「まちかど F+R+P」他を審議・推進した。

電子メールでの会員の声の投稿先、「まちかど F+R+P」の投稿先を継続的にご案内し、また、毎号協会誌発行後に会員メールで読後のご意見・ご感想を求め、前述の会員の声と共に協会誌の「会員・読者の欄」で公開することにより、会員とのコ

ミュニケーションを密にして活性化に繋げることを継続実施した。

昨年度に引き続き、特集の企画に注力して年 8 回実施し、更なる充実を図った。新たなシリーズ解説「とってもやさしい FRP の化学」を 2019 年 4 月から掲載を開始した。Google フォームを活用し、協会誌目次の QR コードからアクセスして、クリックするだけの簡単なアンケートを約 1 年間実施し、アンケート結果を整理して協会誌で報告した。そのアンケート結果を協会誌の企画・編集に活かし特集を企画し、また、早く読者の手元に届くように発行時期を毎月中旬に早める取組をし、2020 年 1 月号から開始した。

FRP の基礎知識習得を目標とした“FRP 入門講習会”を開催したほか、コンポジット市場動向等を目的として“海外 FRP 事情”の提供は協会誌を通じて行った。

（2） 国際交流委員会（委員長：藤井　透（同志社大学））

海外視察：

・CCE 2019 (9 月 3 日～5 日 上海)　14 名

・JEC Asia 2019 (11 月 13 日～15 日 ソウル)

・JEC World 2020 (3 月 3 日～5 日 パリ)　新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、予定していた視察も中止した。

協会誌報告：以下各報告

・「CCE2019 上海」(2019 年 12 月号)

・「JEC Asia 2019 報告」(2020 年 3 月号)

・「国際交流委員会活動報告」(2020 年 2 月号)

64th FRP CON-EX 2019：国際交流委員会報告（10 月 25 日 岐阜）

（3） 技能振興検定委員会（委員長：佐野 広道（サカイ産業㈱））

中央職業能力開発協会への手積成形に関する技能、座学への協力を行った。

・強化プラスチック成形、手積み積層作業

・エポキシ・ビニルエステル樹脂・防食作業

・外国人技能研修制度の改定に伴う基礎級、随時 3 級、随時 2 級への協力

社内検定制度への支援

（4）FRP性能評価委員会（委員長：青木 隆平（東京大学））

会員各位や部会等各組織及び官・公立機関からの問い合わせや相談に応じたが、委員会としての正式な対応までには至らなかった。

（5） 規格標準等関係委員会

硝子繊維協会：JIS R 3412 ガラスロービング改定への協力。

JIS 11 件を日本プラスチック工業連盟から一般財団法人 日本規格協会へ移管済み。

（6）環境委員会

特定化学物質障害予防規制等の改正が、平成 26 年 11 月 1 日に施行・適用されている。スチレンモノマーが、有機溶剤から特定化学等の物質に指定されている。

協会誌平成 28 年 5 月号（中央労働災害防止協会、労働衛生調査分析センター・山田憲一氏）の記事が活用されている。

（7）表彰委員会（委員長：末益 博志（JAXA））

2019 年度功績賞、FRP 技術賞候補者につき当委員会委員および関係者で慎重に審議を行い、功績賞 2 名および FRP 技術賞 1 名がそれぞれ授賞にふさわしいとの結論を得て会長に報告した。2019 年度 功績賞、FRP 技術賞各賞授賞者の発表および表彰は第 65 回通常総会時に行われる。

＜ ３－３　部会関係 ＞

工業部会は特定の業種，特定の商品群に関する会員相互の技術水準の向上、情報交換等を目的として組織活動を行っている。いわゆる工業会的活動をとおして各々の組織の事業目的に沿った自主的な事業活動を推進した。

（1）**原料部会**

（部会長：上期　市川 鉄雄（昭和電工㈱）、下期　古屋 秀樹（日本ユピカ㈱））

FRP 業界の市場動向の調査/分析並びに協会活動への積極的な協力/支援を行った。

① 国内「不飽和ポリエステル樹脂（ビニルエステル樹脂含む）・ガラス繊維使用 FRP 製品」の用途別、成形法別出荷推計資料の作成と定期広報

② 主要な FRP 製品の動向分析

③ 64th FRP CON-EX 2019（第 64 回 FRP 総合講演会）で需要動向報告

④ JEC World 2019 視察結果を協会誌へ投稿

⑤ 型コロナウイルスの影響で、JEC World 2020 に参加せず。（その後 JEC World 2020 中止）

（2）**耐食部会**（部会長：横田 晴之（ニッポリエンジニアリング㈱）

① 耐食部会は 4 回（4 月 18 日、10 月 17 日、12 月 19 日、2 月 20 日）開催。

・64th FRP CON-EX 2019　岐阜市文化産業交流センター じゅうろくプラザ（10 月 24 日～25 日）の入場券配布。

② 耐食 FRP 劣化診断分科会は、2 回（4 月 18 日、7 月 18 日）耐食部会と合同開催。

・FRPSC003（FRP 製耐食機器の性能検査指針）改訂版を発行した。

③ その他の団体との連携

・化学工学会装置材料部会有機材料分科会活動及び関西 FRP フォーラム、樹脂ライニング工業会等の情報活動に参加した。

（3）**給水タンク部会**（部会長：清須美 健治（積水アクアシステム㈱））

・給水タンクの市場動向掌握

・水槽診断士の新制度を検討し、外部委託での実施予定

・水レジリエンス WG（レジリエンスジャパン推進協議会）への参画

・給水タンクのランキング表示制度委員会への参画

・関連各団体の研究会/委員会/講演会への参画

（4）**タンクローリー部会**（部会長：鈴木 正幸（㈱富洋レヂン工業））

2019 年 4 月から活動を再開した。

・成形技術の情報収集と実技講演会の実施：フリーフォール救命艇・Infusion 成形見学

・FRP 積層板の機械的特性の検討：サンディング工程の検討（場所 ㈱富洋レヂン工業）

（5）FRP **引抜成形工業部会**（部会長：柏女 浄照（AGC マテックス㈱））

現在部会員は 1 社のみのため、主要な活動は休止中。

（6）**橋梁開発専門委員会準備委員会**（委員長：睦好 宏史（埼玉大学））

プストレストコンクリート工学会において、「繊維強化ポリマーを用いたコンクリート構造物の設計・施工・保全指針」を作成し刊行の準備を行った。当協会から委員を派遣した。

（7）**廃 FRP の再資源化**

・協会の FRP リサイクルへの取り組みを広く認知してもらうため、協会 HP の「FRP のリサイクル」のページを更新した。また協会誌 3 月号「GFRP のリサイクル特集」で協会が行ってきた廃 FRP 再資源化の経緯について掲載した。

・FRP 廃棄物の処理相談への対応

会員内外からの廃 FRP 処理の問合せに対し、該当処理事業所を紹介しリサイクルの推進に努めた。

4. その他の事業（開発・研究関連等）

（1）**第 19 回　先端材料・技術研究会**

日　時：2019 年 6 月 10 日（月）13:00～17:00

場　所：日本大学 理工学部 駿河台校舎
内　容：アラミド繊維の特性とその用途紹介
ガラス繊維の工業材料としての魅力
PAN 系炭素繊維の現状と将来
コンポジットの熱伝導度測定による補強繊維の配向度の計測
講演会参加人数 95 名　　技術交流会参加人数 50 名

（2）第 20 回 先端材料・技術研究会

日　時：2019 年 8 月 22 日（木）13:10～16:45
会　場：革新複合材料研究開発センター（ICC）
内　容：ICC 革新複合材料研究開発センターの見学と紹介
コンポジット分野における新素材開発
熱可塑性 CFRP 用プリプレグとしてのコミングルヤーンの可能性
熱可塑性 CFRP ランダム系材料「フレックスカーボン」の開発
見学会・講演会参加人数 90 名　　技術交流会参加人数 65 名

（3）第 21 回 先端材料・技術研究会

日　時：2020 年 2 月 18 日（火）13:00～16:50
会　場：首都大学東京 国際交流会館
内　容：大学院理工学研究科環境科学研究科構造、コンクリート・材料、水理、土質の実験施設等の見学
土木分野における FRP の研究開発の事例と今後の展開
－首都大学東京・社会基盤構造学研究室の取り組みを例として－
建設用先端複合材技術協会（略称：ACC）の近年の取り組みについて
構造物の FRP シート・ロッド補強と FRP への今後の期待について
見学会・講演会参加人数加人数　83 名　　技術交流会参加人数　39 名

5．その他の企画・調査等

若手交流会『強プラ NEXT Gs'』（幹事：渡邉　傑（㈱羽生田鉄工所））

第 2 回
日　時：2019 年 6 月 11 日（火）14:00～17:00
場　所：日本ユピカ㈱ 平塚研究所
内　容：
(1) FRP 関連成形品の見学
(2) 樹脂についての講義・議論　講師：日本ユピカ㈱　吉田 信貴氏
参加人数：21 名（含むコアメンバー）
参加費：無料
コアメンバーの募集
転職による脱退、産休育休、出向により、現在コアメンバーとして活動できる人員は 1 名（渡邉　傑（㈱羽生田鉄工所））
30～45 歳程度でコアメンバーとして協力頂ける人を協会誌、イベントの場等で呼びかけ中。